

福 井 県 医 師 会

だまり

第548号 平成19年(2007)2月



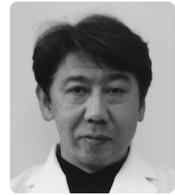
表紙写真説明：ビクトリアピークから香港の夜景

平成8年、中国に返還される前の香港の夜景です。当時の啓徳空港は町の中にあり、飛行機の離発着の為、夜間のネオンの瞬きは禁止されていました。それでも香港の夜景の美しさは〔百万ドルの夜景〕〔東洋のホテル籠〕と言われていました。香港島のビクトリアピークからの俯瞰撮影です。

坂井地区 西野 慎吾

ダマスカス思考

地域医療担当理事 広瀬真紀



安全と思われていたものが、ふと気が付くと無防備なままにさらされている。我々の世界もまたそのような状況に置かれつつあります。医療行政の流れは思惑と困惑の中で、一刀両断に切り裂かれ変化を試されています。私達に論的武装はなされているのでしょうか？

世にダマスカス思考という言葉はないのですが…。

複数の鋼材を何層にも鍛造し、美しい紋様を描きながら、しかしねじれても折れない脅威の粘りをもった刀、さびないといわれながらも適度に錆びて、のちのち相手に致命的な傷をあたえたダマスカス。我々にダマスカス武装は可能でしょうか？

私達は医療制度改革の真只中にいます。ある人は決断せねばならず、ある人は生き延びねばなりません。最善の時運を計る必要に迫られています。日本刀の如き決断をもってするならば、その鏡面にわが顔を映してみる必要があります。ダマスカスの表面は時に美しい紋様なのです。但し厄介な事にさびます。

特定健診・保健指導の話に移ります。国は周到に準備を重ね、おもむろに刃を抜いてまいりました。充分な理論武装がなされており反射する光の行方もしっかり見据えています。私達もこれを受け止めつつ、早々に対処しなければならぬところです。言える事は糖尿病予備軍の総数が少なく見積もられている事であり、削減されるべき医療費が8兆円と非常に高く見積もられている事です。この辺に弱点が見え隠れします。

数年前、私はダマスカス輸入を試みました。日本刀の里帰りは大いに歓迎されています。一定の手続きをふめば、簡単に輸入が出来るのです。なじみのないダマスカスは有害な物、刃渡りが規定を超えるものは、没収、破棄処

分が待っています。問題を抱え込んだのです。シアトルを舞台に税関と三者で約一週間の交渉の結果、ついにアメリカに戻りました。美術品として認めてもらうささやかな努力が必要でした。

カベシタピン同様にピノレルピンもまた再発乳癌にある程度効果的な薬剤として認められるようになり、最近保険がきくようになりました。以前は肺癌のみの薬剤であり、使うには国に申請して個人輸入するというものでありました。現在、ドセタキセルやトラスツズマブなども共に多くの選択肢として扱われるようになってきました。ダマスカスもこれら抗癌剤も、少し法律から距離を置いた存在だったのかもしれませんが。法律は時に法律の為の法律であり、国民の為のものでない不条理なものとして存在する事もあります。そうさせない為の些細な努力も必要とするのです。

国は内閣支持率という数字を優先させ、民意として施策に反映させてまいりましたが、ここに来て障害者自立支援法にもみられるように、傷ついた多くの人々の民意が剥き出しになってまいりました。さびが生じて来たともいえるのです。紋様は失われるかも知れませんが、このさびは味方になってくれる筈です。私達はそういった人々の民意をとり込み武器とせねばならないでしょう。

ダマスカス鋼のルーツはインドにあります。ウーツ鋼として知られていますが、それがシリア地方に伝わったようです。20年前インドを旅しました。そして少年がなにげなくこのウーツ鋼を作っているのを見ました。ボロボロの自転車のスポークを鋼材として溶かしていたのです。

いたって単純なところに、案外、民意と同調させる糸口があるのかもしれませんが。